

“天明三年”をアートで伝える!!

水野 暁 × 青木 宏展

アートとデザインの分野で活躍されている水野暁先生、青木宏展先生の天明三年浅間災害に関わるモチーフのもと制作された作品をお借りして、令和8年度企画展を開催しています。

ジャンルの枠を越え、作者のフィルターを通して多彩な表現がとられる美術作品にも、災害と語り継ぎの深意が反映されていることがわかります。

他領域との緩やかなつながりによって、テーマを追い求めていくことがあらたな展開のヒントになるのだと考えました。“天明三年”の災害語り継ぎの新たな視点として着目していただけたら幸いです。第一線で活躍されているお二人の先生の講演を通して、館の展示テーマをさらに深められるようにと考えます。たくさんの皆さんの参加をお待ちしております。

講演1 群馬・浅間山をめぐる現場制作



水野 暁 先生

みずの あきら

現在、東北芸術工科大学客員教授、
武蔵野美術大学通信教育課程非常勤講師、
女子美術大学非常勤講師
東吾妻町観光大使
2014-15年、
文化庁新進芸術家海外研修員
スペイン・マドリッド滞在
群馬県東吾妻町生まれ



《浅間山の噴火(4歳の作品)》1978(水彩、板)

講演2 3Dデータから考える災害伝承



青木 宏展 先生

あおき ひろのぶ

現在、千葉大学デザイン・リサーチ・
インスティテュート(dri) 助教
2020-21年
千葉大学大学院工学研究院 助教
2019-20年
千葉大学大学院人文科学研究院
技術補佐員
株式会社ミライノラボ
埼玉県生まれ



道標 2025年 千葉大学デザイン文化計画研究室

対談

作品展示から見えてくること

千葉大学大学院博士後期課程

水野 暁先生 × 青木宏展先生 × 陳 正捷氏 進行：関 俊明

日時 令和8年 10/17 | 土 |

午後1時30分～

※講演会に申込みされた方は、当日と翌日に限り
嬬恋郷土資料館の入館を無料といたします。
窓口でお申し出ください。

主催 嬬恋村教育委員会 嬬恋郷土資料館

後援 浅間山ジオパーク推進協議会

申込・問合せ

電話・窓口
嬬恋郷土資料館
(0279-97-3405 水曜休館)



入場
無料

▶ 二次元コードから
お申込みの方は
こちらから

会場 サーラ嬬恋大ホール(嬬恋村大字三原691)

定員 150名